

# 未来へ

紀の川市議会だより No.51

令和元年 [2019] 11月1日発行

笑顔で  
イクササイズ

- (特集)「Studio M」…………… P2
- 令和元年 第3回定例会 …… P4
- 市政を問う(一般質問)…………… P11
- 委員会報告…………… P16
- 追跡 あの質問、どうなったの?…………… P19

# 心も身体もリフレッシュ!

フィットネスクラブ「Studio M」

オーナー 新井真由美さん



## 子育て中のびのびちゃん

新井さんは大阪府門真市出身の42歳。二十歳の頃、ご主人との結婚を機に姑さんの住む岩出市に引越してきました。その後、紀の川市内で住居を新築され、現在3人の子育てをしながら、貴志川町神戸でフィットネスクラブを経営されています。

自身の育った環境とは全く違つたどかなところで子育てをしたかったと、新井さんは言います。「私自身、せせこましいところは苦手で...。子供はのびのび育つのが一番。紀の川市は子育てには最高の場所だと思います。」と、紀の川市で家を建てられた理由を母の顔で語られています。

## ダイエットに再チャレンジ

3人目の子どもを出産したのが30歳のとき。産後、増加した体重が戻らず数々のダイエットにチャレンジするが失敗。「何やっても痩せへんかったわ」と当時を振り返ります。



始まるまでの楽しい時間

そんなとき転機が。通っていたジムでズンバというダンスに出会いました。全身を使うこのズンバで、みるみるうちに妊娠前の体型を取り戻したそうです。とことん極める性格の新井さんは、自身で資格を取得し、インストラクターの道を歩み出しました。



## 娘の一言で

最初は小さな会場を借りて少人数でレッスンをしていました。近隣の場所を色々と借りながら地道に指導を続け、関連資格の取得も積極的に行い、インストラクターとして成長したと言います。

次第に新井さんのレッスン内容と実績が口コミで広がり、徐々に生徒が増えていき教室がいっぱいに。周囲から独立を強く勧められましたが、

家庭を第一に考えたい新井さんは現状で充分と考え、動きませんでした。そんなとき娘さんからまさかの一言。

「私には何でもチャレンジしなさいと言っつのに、なんでお母さんはないの？」

これが独立の決め手になったと言います。ご主人やスタッフの協力もあり、平成29年9月に現在のジムをオープンされました。

## アットホームで 楽しく

ジムの場所も紀の川市内であることにこだわったそうです。「紀の川市の人はのんびりとしていてあなたかい人が多いので、コミュニケーションを大切にすることのジムのコンセプトと合っている」と話します。



会員さんの年齢層は20代〜80代と幅広く、最高齢はなんと83歳の男性の方。「午前中は近所の方の憩いの場の要素はあるかも（笑）。夜はトレーニングなど目的を持って来てくれている方が多いですね。年齢は関係なくアットホームですよ。」と新井さん。  
ズンバだけでなく様々なプログラムがあり、年配の方の体づくりにも効果があるとのこと。生徒さんはみんな活き活きと身体を動かされています。

「ここは完全レッスン制で機械を使わないところが特徴。生徒さん一人ひとりが身も心も健康になってもらえることが一番の幸せですね。」と熱く語ってくれました。  
エネルギーシユな新井さん。これからは家庭とインストラクターとの両立をしながら『みんなを笑顔にしたい』という気持ちを胸に、がんばっていきなすつです。

(上野・榎本)



# 第3回定例会

こんなことが決まりました。

- ・会期 26日間 9月2日～9月27日
- ・一般質問 8名が登壇

今回の議案は

## 市長提出議案

- ・人事案件……………2件
  - ・平成30年度決算の認定……………22件
  - ・令和元年度補正予算……………20件
  - ・条例の制定・改正……………6件
  - ・その他……………1件
- 委員会提出議案**
- ・意見書……………1件
- 議員提出議案**
- ・条例の制定……………1件

3件に注目!

計53件

※議会だよりは、主な議案を抜粋して掲載していますので、その他の議案や結果につきましては、紀の川市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

(議案第104号) 令和元年度紀の川市一般会計補正予算(第2号)について

## 1 より安く。より円滑に。

### ◎電算システム更新事業(▲2千522万2千円)

パソコンの購入予定(200台)を取りやめ、全職員のパソコンをリースに変更するもの。

こんな質問が出ました

**Q** リースの期間とリース終了後はどうするのですか。

**A** 3年間のリースで、終了後から3年は自己管理で使用し、6年間使用したいと考えています。

**Q** パソコンを購入からリースに変更した理由は。

**A** 耐用年数を6年と考えると、リースの方が若干安くなります。また、職員が一齐に同じソフトウェアで仕事できるメリットは非常に大きいためです。

**Q** 職員のパソコンは何台ありますか。

**A** 650台ほどになります。



## 2

### 保育の充実を

#### ◎子どものための教育・保育給付事業

(病児保育補助金437万1千円)

保育中の急な病気の時でも、保育園で預かってもらうことができます。

こんな質問が出ました

Q どの保育園ですか。

A 粉河保育園です。

Q 何名の受け入れで、他園に通う子供も利用は可能ですか。

A 粉河保育園に通われている園児のみで、定員は1名です。



病気の時も安心

## 3

### 総合的判断の結果

#### ◎ごみ収集事業(工事請負費192万3千円)

紀の川市石材加工共同作業所の廃止に伴い、施設の有効利用のため、在庫ごみ袋の保管場所および桃山収集詰所と本庁ペットボトル回収班詰所の集約移設を実施し、機能の効率化をはかるための事業です。

こんな質問が出ました

Q この場所を永久的に利用していくのですか。

A 現在、4ヶ所に分散している収集事務所および収集詰所を1ヶ所に集約します。収集事務所整備計画を進めており、3～5年の完成後に移転します。

Q 現在のゴミ袋保管場所(旧桃山小中学校校体育館)の解体を延期して、引越しも一度にした方が効果的では。

A 元石材加工所の売却および賃借の申し入れを聞いているが、新収集事務所の建設が隣接同意の関係で遅れています。体育館の解体については、地元と長年協議をしてきました。総合的判断の結果となりました。



# 新たなアイデアに挑戦

総務文教、厚生、産業建設常任委員会をそれぞれ分科会とし、所管する事項について詳しく審査を行いました。常任委員会、分科会の審査は、9月5・9・10・11・13・25日の6日間です。

## 平成30年度決算

### 一般会計

予算現額	310億 5,811万 1,000円
歳入決算額	301億 1,090万 7,017円 (収入率 97.0%)
歳出決算額	291億 2,789万 3,719円 (執行率 93.8%)
翌年度(元年度)繰越額	9億 8,301万 3,298円

### 特別会計 (19 会計)

歳入決算額	180億 2,697万 1,059円
歳出決算額	178億 106万 637円



Pick up  
1

経費ゼロで

### ◎行財政改革推進事業 (アイデア0円)

行財政改革推進事業のなかで取り組まれた「職員提案制度」。平成30年度は14件の提案があり、7件が採択されました。

こんな質問が出ました

A Q 現在、実施できているものは。

採択された提案
・防災時の職員マニュアルのさらなる細分化
・職員として読むべき文献を推薦し、共有する職員文庫
・職員のパソコンのデータ管理の改善
・庁舎でできるダンボールの廃品回収を障害者団体に
・新規採用者に業務内容の事前説明
・庁舎2階にキッズスペースを
・公式LINEで情報発信・収集



庁舎2階のキッズスペース

Pick up 2

市税の収納率が過去最高

市税（市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、都市計画税）の収納率は、95.8%（約66億円）でした。

こんな質問が出ました

Q 滞納分の収納率が上がったのはなぜですか。

A 差し押さえなどを積極的に行ったことと、滞納処分の執行を停止（回収をあきらめること）したものが不能欠損（徴収できないこと）になったからです。

差し押さえ件数は、平成29年度は274件でしたが、平成30年度は806件でした。

Q 地方税回収機構の成果は。

A 50件、約4千680万円の移管額になっています（徴収実績は約2千124万円）。

Q 回収機構から徴収できずに戻ってきた分の時効は。

A 回収機構で行われた滞納処分から新たに時効を計算します。



Pick up 3

新生活を応援

◎結婚新生活支援事業（110万7千240円）

経済的理由で結婚に踏み出せないカップルの婚姻時の転居費用を支援します。

- ・対象は夫婦ともに34歳以下、夫婦の所得合計が340万円未満
- ・補助額は一世帯当たり上限12万円
- ・対象費用は、住居費、引越し費用など、結婚を機に要した費用

こんな質問が出ました

Q 県内の実施状況は。

A 和歌山市と湯浅町でも実施しています。

Q 補助額を下げずに、市単独でも補助を行っては。

A この事業は、3年間（平成29、30、31年度）の事業と計画しています。来年度以降については検討していきます。



Pick up 4

通学路の安全

◎学校教育総務管理事業

国土交通省・和歌山県・小中学校校長会・市などが連携し、通学路交通安全プログラムにより危険箇所の改修が行われました。

こんな質問が出ました

Q どんな取り組みがされましたか。

A 各学校において通学路の危険箇所の調査を行い、対策を講じました。

Q 主にどんなところを改修しましたか。

A 通学路の拡幅や横断歩道の塗装修繕・グリーンベルトの塗装など11ヶ所実施しました。



Pick up 5

新たな自分を発見

◎スポーツ交流事業 (137万1千82円)

市民のスポーツ振興と健康づくりをはかる事業の一つとして、日本体育大学へ6年生30名を派遣しました。

こんな質問が出ました

Q どのように30名を選考したのですか。

A 全16小学校に1名の枠を設け、児童数に応じて2名または3名に募集枠を増やしています。運動能力に優れた児童を選抜したのではなく、体験したいという児童を対象にしています。

Q 参加した児童の感想はどうでしたか。

A 「努力し続ける事や最後まであきらめないことが自分の夢を叶えることにつながったと思う。」という感想や、運動が得意ではないけれど興味があつて参加し、「運動って楽しいと思えるようになった」という感想もありました。



日本体育大学でラクロス体験

Pick up  
6

コラボ商品の発売

◎農産物販売促進事業（委託料84万9千960円）

UHA味覚糖、ピーチアビエーションとの共同企画で、あろ川の桃味のグミ「コロコロPeach」を発売。

こんな質問が出ました

Q 販売後、消費者の声は。

A アンケートなどは取りませんでした。市民からの評判は上々でした。今後は消費者からの声をもっと吸い上げる方法を検討していきたいと考えています。

Q 今後、別の商品の開発は。

A 第2弾の商品の開発を目指して、企業と調整し、農産物のPRにつながるので、できるだけ早く商品の開発・販売につなげていきたいと考えています。



コロコロ Peach

Pick up  
7

加盟団体は22市町

◎京奈和関空連絡道路整備促進事業（243万6千162円）

京奈和自動車道紀の川ICから阪和自動車道上之郷ICの間を最短で結ぶ新たな道路の整備を促進するために、関連団体への整備要望や活動に参画しました。

こんな質問が出ました

Q 京奈和関空連絡道路調査検討会が開かれたが、新たにわかったことは。

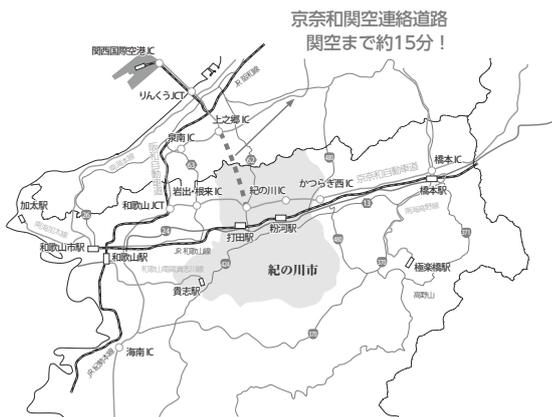
A 利用者ニーズなどの把握の調査を行った結果、開通を期待する意見が全体の6割を上回りました。

Q 市民に関心を持ってもらうために、どう取り組みましたか。

A パンフレット、ステッカー、ポスターなどで宣伝しています。

期成同盟会加盟団体

紀の川市・泉佐野市・貝塚市・阪南市・熊取町・田尻町・岬町・和歌山市・海南市・橋本市・岩出市・紀美野町・かつらぎ町・九度山町・高野町・有田川町・桜井市・橿原市・大和高田市・御所市・五條市



賛成の  
主な理由

一般会計の決算に対する  
**討 論**

反対の  
主な理由

◎歳入では、市税全体の収納率が、前年度よりも向上しており、新たな滞納を増やさず、公平・公正な徴収事務に積極的に取り組んだ成果が上がった。

◎歳出では、荒川中学校校舎改築、予防接種やがん検診の実施、保育所再編に伴う粉河保育園への施設新築補助、新規就農者への支援など、市民生活の安定と向上に必要な事業を着実に実施し、住民福祉の増進がはかられた。  
平成30年度の各施策の成果を分析し、今後の事業を展開すること、さらなる財政運営の健全化に努めることを期待する。

VS

◎粉河地域の公立保育所が廃止され、公共施設の統廃合がすすめられたこと。

◎職員数の削減が進み、専門性の低下が懸念されていること。職員削減は見直す必要がある。

◎基金の活用で市民サービスの充実をすべきだということ。借金である地方債283億円のうち、96%が交付税算入されるので、市の実質的な負担額は約11億円である。  
一方、預金である基金は116億円あり、この一部を活用して、国保会計への繰り入れや教育環境の充実などに使っていくという判断をすべきだった。

議案に対する議員の賛否一覧 (賛否が分かれたものを掲載しています)

案 件 名	結 果		門 眞 一 郎 (共)	上 野 宗 彦 (清)	仲 谷 妙 子 (副)	船 木 孝 明 (わ)	中 尾 太 久 也 (わ)	太 田 加 寿 也 (わ)	石 脇 順 治 (隆)	並 松 八 重 (公)	中 村 ま き (共)	大 谷 さ つ き (公)	阪 中 晃 (わ)	榎 本 喜 之 丸 (わ)	高 田 英 亮 (わ)	室 谷 伊 則 (公)	森 田 幾 久 (清)	村 垣 正 造 (清)	堂 脇 光 弘 (副)	竹 村 広 明 (清)	石 井 仁 (共)	杉 原 勲 (副)	川 原 一 泰 (隆)	坂 本 康 隆 (わ)		
議案第76号 平成30年度紀の川市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	令和元年 9月27日	×	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
議案第81号 平成30年度紀の川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	令和元年 9月27日	×	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
議案第82号 平成30年度紀の川市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	令和元年 9月27日	×	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-

【○…賛成 ×…反対 -…議長 欠…欠席 退…退席】

※議長は表決に加わることはできません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「裁決権」が認められています。

※(わ)…わかばクラブ (清)…清流会 (公)…公明党 (副)…刷新クラブ (共)…日本共産党 (隆)…隆盛クラブ

# いっぱん質問

## 市政を問う

中村 まき 議員 (12ページ)

- ・ 利用しやすい移動手段の確保に向けて
- ・ 踏み間違い防止装置整備費の助成を

門 眞一郎 議員 (12ページ)

- ・ 県道3号かつらぎ桃山線、県道129号垣内貴志川線を軸とした、市南部山間部の観光振興、地域活性化の施策を

石井 仁 議員 (13ページ)

- ・ 国保税の子どもの均等割の負担軽減で子育て支援を
- ・ 協会けんぽ・共済組合との協定締結で健康づくりの推進を

森田 幾久 議員 (13ページ)

- ・ 選挙の投票率をアップさせるためと今後の投票所のあり方

大谷 さつき 議員 (14ページ)

- ・ 自転車の安全意識の向上と自転車保険加入について

船木 孝明 議員 (14ページ)

- ・ 本市の有害鳥獣対策について

阪中 晃 議員 (15ページ)

- ・ 公民館の使用について
- ・ 夏休みの学校のあり方について
- ・ 教育行政について

並松 八重 議員 (15ページ)

- ・ 汚水処理における合併浄化槽の実状と今後の取組について

背景写真：平池緑地公園

一般質問の内容については、要旨のみ掲載しています。

なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。

くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので議会事務局議事調査課までお問い合わせください。(TEL 0736-77-0860)



中村 まき 議員

## 移動手段の確保を

**問**

平成31年3月に「地域公共交通網形成計画」が策定された。交通手段がなく、バスの利用にも困る方たちにとって、移動手段の確保は急務である。現状をどう考えるか。

**答**

企画部長

調査結果でも利便性で不満を感じるという声が多くある。ルートやバスのことを知らないなど、現在の公共交通ネットワーク利用率は高くない。

**問**

説明会や意見交換会では、本当に移動手段に困る方の声を聞くことが必要では。

**答**

企画部長

移動に困る方が意見交換会に参加しやすい方法を検討し、意見をいただく機をつくり努める。

**問**

移動に困る市民を助ける手段の一つとして、乗合タクシーの取り組みを急いで。

**答**

市長

それぞれの地域に応じた必要かつ効果的な方法の研究を進めていかなければならない。デマンドタクシーも今後大きな課題として取り組んでいく。

## 未然に防ぐために

**問**

高齢者ドライバーによる交通事故が大きく取り上げられ、同時に後付けの踏み間違い防止装置整備への取り組みが全国的に始まっている。

市の第10次交通安全計画には、交通事故のない



デマンドタクシー

**答**

市長

現時点では課題がある。高齢者の交通安全対策については国・県に要望していく。

社会を実現するための積極的な取り組みの必要性や、運転手の危険認知の遅れや運転操作の誤りを未然に防止するために、安全運転を支援するシステムを導入していく必要があると書かれている。踏み間違い防止装置整備の補助をしては。

## 山間部の観光振興

**問**

県道の改修事業が進められ、高野山方面への観光客やサイクリストが増えている。単なる通過点ではなく、地域の名所や休憩場所などの案内をすれば、訪問者も増え、地域の活性化にもつながると考える。

**答**

農林商工部長

市として、南部山間部の観光振興についての考えは。

南部山間部の観光資源は、細野深溪キャンプ場、深山溪谷、鞆八幡神社の国宝神輿、鞆・細野・野田原でのほたる鑑賞があり、ちぢみほつれん草、きゅつり、がんこ農家の黒豆などの特産品もある。また、大阪からの移住者が古民家を改修し



門 眞一郎 議員

てカフェをオープンするなど、新しい波も出ている。

地元では当たり前にある「もの」「こと」などの地域資源の発掘からはじめなくてはと考える。

また、県ではサイクリングロードの整備を進めており、情報発信を行っている。本市の山間部も楽しんで走ってもらっているが、単なる通過点ではなく、様々な地域資源を活用して、立ち寄ってもらうことで、観光振興につながると思う。

**問**

市の公式な観光ガイドブック、観光マップをさらに充実したものに改訂しては。また、サイクリスト向けのマップについてどのようなものがあるか。

**答**

農林商工部長

市の観光ガイドブックは、内容の刷新をして9月から公開・配布を予定している。マップには、主要観光地や観光協会加盟の店などを掲載している。新しい店の情報が入れば、観光協会への加盟を勧めて、更新時にガイドブックで紹介していきたい。

サイクリスト向けのマップは、紀の川市も加入している紀の川エリア観光サイクリング推進協議会で作成した「グルリンマップ」がある。これに、南部山間部の観光資源、地域資源を発掘して、高野山へのルート情報の掲載を働きかけていきたい。地域を訪れるサイクリスト・観光客を増やして、地元の方々との交流を推進し、地域振興、移住定住につながるばと考える。



泉佐野からのサイクリスト



石井 仁 議員

県の国保運営方針では、決算補填など目的以外の市町村の政策により積極

**答**

市民部長

均等割の負担軽減をはかることで、国保に加入する子育て世帯の支援にとなると考える。  
軽減のための財源については、一般会計から繰り入れる場合も、政策的繰り入れについては認められているのでは。

## 子育て支援に逆行

**問**

国民健康保険には、加入人数に応じて保険料が上がるとして、均等割や世帯単位の世帯割がある。特に、均等割は、子供のいる世帯に比べて、家族が増えれば増えるほど税負担が大きくなる仕組みである。

**問**

的に行う繰り入れについては、解消や削減する対象とはしていない。

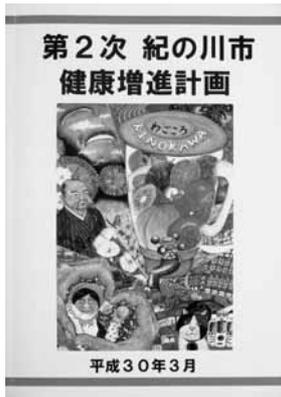
本市の姿勢次第で、実施は可能である。

子供のいる自営業者・農業者にとってもインパクトのある施策と考える。基幹産業を農業とし、移住・定住を進める本市にとって有効な施策では。

**答**

市民部長

子供に係る均等割の軽減は、国において新たな制度創設を行うべき事案であると考える。



## 協会けんぽと連携を

**問**

市民の健康寿命を延ばすためには、全市民を対象にした医療分析が必要だと考える。

協会けんぽや共済組合と協定を締結して、特定健診の結果を共有・分析したり、保健事業の連携をすすめては。

**答**

市民部長

協会けんぽ和歌山支部と連携、協力して市民の健康づくりが推進できるよう、協定を締結するメリットについて検討したい。



森田 幾久 議員

今後、投票所の統廃合も

**答**

選挙管理委員会書記長

投票所および期日前投票所の箇所数は、また今後はどのように考えるのか。

**問**

全国的でもあるが、どの選挙においても投票率は低下傾向である。市議会議員選挙においても、紀の川市誕生以降、80・1%、71・9%、62・6%、54・7%と推移している。

**答**

選挙管理委員会書記長

選挙の投票率の推移はどうなっているか。

**問**

また、期日前投票所については、直近の参議院選挙では、投票された方のうち、47・7%の方が期日前投票所を利用されているため、このまま維持していきたい。

## 投票所が近くにあれば

**問**

高齢者ドライバーが免許返納する時代でもある。投票率を上げるためと投票所の人員配置の軽減のため、投票所待っているだけでなく、こちらから向かっていく移動期日前投票所を開設しては。また、高校の敷地内での投票を実施しては。

**答**

選挙管理委員会書記長

バスや電車などの公共交通機関が少ない地域では、徒歩で投票所まで行くことが困難な方が増えること、投票をあきらめることも予想される。



便利な移動投票所

投票者の投票環境の向上をはかることは、選挙管理委員会としての大きな使命となるため、今後の課題として議論していく。

高校の敷地内での移動期日前投票所の設置は、若年層が政治に興味を持つ機会が提供できると考える。

しかし、公平性の観点からも高校生以外の選挙人も投票できることが望ましいと考えるため、一般の方が高校の敷地内へ立ち入ることについて、高校側との調整と対策が必要となる。



大谷 さつき 議員

## 自転車保険の義務化を

**問**

自転車は環境に優しい交通手段であり、多くの人が利用している。しかし、自転車による重大な事故も後を絶たない。

**答**

危機管理部長

和歌山県では「自転車損害賠償保険等への加入努力義務化」が本年10月1日施行される。本市において加入を義務付ける条例の制定は考えていない。

保険に未加入でも罰則はないが、自転車利用者が加害者とならないよう、広報紙・ホームページ、四季に行つた交通安全運動などで、自転車保険加入

の推進・啓発をしよう。

**答**

教育部長

中学校の入学時・進級時に保護者に対して保険加入の推進をはかり、保護者の判断に委ねている。

**問**

自転車保険の加入を義務付ける自治体が増えている。加害者が子供であっても、相手にケガを負わせた場合、民事上の損害賠償責任が発生する。中学校の自転車通学の許可と合わせ、中学生だけでも自転車保険の加入を義務付ける条例の制定としては。

**答**

教育部長

現時点では、自転車通学の生徒に、保険加入の義務化は考えていない。PTAとの協議も視野に入れて検討し、加入の推進・啓発に努める。

## 子ども自転車免許証!

**問**

自転車事故の抑制と交通ルールの遵守を徹底するため、小中学校の交通安全教室の受講後にオリジナルの自転車免許証を交付しては。

**答**

教育部長

県警察本部では県内に自転車免許証を発行している事例がなく、今後も積極的に推進する考えはないが、本市においては講習受講済証明書であれば、関係機関との協議で検討はできる。



下校中の中学生

## 有害鳥獣対策は



船木 孝明 議員

**問**

鳥獣被害防止計画の進捗状況は。

**答**

農林商工部長

計画では、平成27年度と比べて令和元年度で被害金額で3割の減少を目標にしている。

30年度では、目標に対してアライグマでは18.7%、イノシシでは31.7%となっており、目標を達成するのが厳しい鳥獣もあるのが現状である。

**問**

今年度、有害鳥獣被害防止対策事業の予算を減額しているのは。

**答**

農林商工部長

この事業は、防護柵等の設置に対して補助金を交付するもので、前年度の事業要望や実績が減少

したことで減額した。

**問**

今後、予算を増額していく考えは。

**答**

農林商工部長

事業要望が増加すれば、予算要求していく。

**問**

畑や道でイノシシを発見した時の対応は。

**答**

農林商工部長

農林振興課へ連絡していただくと、警察や関係機関と連携し、猟友会の協力を得て捕獲を行う。

**問**

狩猟免許所有者も高齢化している。JAや農家と協力して捕獲計画を策定しては。

**答**

農林商工部長

狩猟免許取得者の高齢化と新規取得者の減少は深刻な問題と捉えている。農家自らが捕獲できるよう、狩猟免許取得を奨励し、安全で効果的な捕獲活動を推進していく。

**問**

紀美野町では年間を通じて捕獲補助金を出している。本市も捕獲期間だけでなく、年間を通じて補助金を出しては。

**答**

農林商工部長

現在、猟友会では有害鳥獣捕獲期間以外にも、狩猟期間に捕獲を行っている。鳥獣被害防止対策実施隊による捕獲や追い払い活動で対応できていると考える。有害捕獲期間の通年化は考えていない。



ほかく捕獲されたイノシシ

## 自習のできる公民館に

**問**

最近の中高生は、常にスマホを触っているように見受けられる。自習学習の場合、誘惑が多すぎるため、勉強が手につかないこともある。そこで、公民館を活用し、市民が自習できる環境をつくっては。

**答**

教育部長

公民館の空き部屋などを本市の学生たちに利用していただくことは、これからの公民館活用の一つの選択肢だと考える。

近年、学習形態も多様化し、大型商業施設の空きスペースやオープンカフェなどに学習スペースが設けられ、開放時間も長時間にわたることから、学生の利用も非常に多い

と聞かれています。

公民館の管理体制と空き部屋の有効利用について、先進的に取り組んでいる自治体を調査し、さらなる公民館の活用増進という意味においても検討していきます。

**答**

教育部長

公民館も新たな時代を迎えているのではないかと考えている。学生も含めた市民の自主的な学びを支え、誰でも気軽に来館できる学びの環境づくりを進めていきたい。

**問**

学力向上のため、中学校において、夏休みなど長期休みの時には、学校で自習できる環境をつくるべきでは。

**答**

教育部長 教育長

学力向上に向けた目標目指すところは、紀の川市学校教育指針などのもと、学校にはそれぞれ特徴や伝統といったものもあり、当然、学校長にも

一定の権限があるということのなかで、手法は様々であることはご理解いただきたいと思います。

そういったなかで、長期休みの間に自習教室として教室を開放してはどうかという提言については、子供の安全確保を最優先に、学習環境の確保など各学校の実情に照らしながら、学校長の適切な取り組みを推進するとともに、自習室の設置については、効果などを十分に検証しながら検討していきたい。



こんな自習室があれば

## 快適な生活環境を推進

**問**

紀の川水系・貴志川水系の水質保全のために必要不可欠な、公共下水道事業の進捗状況と今後の取り組みは。

**答**

上下水道部長

平成16年度から整備工事に着手し、認可区域305haの92・9%は整備済みで、接続率は62%である。進捗率は全体計画の18・8%となる。市全域で効率的な汚水処理施設の推進を行うため、決められた予算・財源の中で効率的に整備を進める。

管設備費用も補助対象としている。地域に出向き説明、周知はできているのか。

**答**

市民部長

地域住民への周知・説明は、広報紙、ホームページへ掲載し、啓発に取り組んでいるが、今後区長会においても説明していく。

**問**

毎年の清掃・保守点検・法定検査の維持管理が法律で義務付けられている。二元管理するため浄化槽台帳を作るべきでは。

**答**

市民部長

県から事務が移管されてからの管理はできているが、担当課で協議し、移管台帳をもとに全設置者に対し適正に推進をはかり整理していく。

**問**

浄化槽維持管理費が負担となり、適正に管理できている生活困窮者に

対し、検査料の助成はできないのか。

**答**

市民部長

水質保全と快適で衛生的な生活環境作りには、応分の費用負担が市民に求められる。受検率向上に向け、負担軽減については河川流域の自治体で共有する課題として考えている。





# 委員会活動報告



各委員会では、議案の審査だけでなく、各委員会に付託された市民生活に深く関わることについて議会閉会中も調査研究を行っています。

最近の活動状況についてお知らせします。

## 総務文教常任委員会 7月23日

- ・紀の川市地域公共交通網形成計画について
- ・紀の川市生涯学習推進計画について
- ・紀の川市スポーツ推進計画について

それぞれの計画策定の内容、経緯や取り組みなどの説明を受けました。

## 厚生常任委員会 10月7日

- ・太陽光発電施設設備について

「紀の川市における太陽光発電設備設置条例制定について」の陳情書が出され、調査を行いました。執行部から現状の説明を受け、条例制定も含め、前向きに検討するよう申し入れました。

## 産業建設常任委員会 10月8日

- ・紀の川市水道事業運営審議会からの答申書の内容について

水道事業についての今後の方向性、料金体系の見直しや改定の時期など、執行部より答申書の概要について説明を受けました。

## 意見書を提出

厚生常任委員会より「虐待から子どもの命をまもるための速やかな対応を求める」意見書が提案されました。全会一致で承認され、地方自治法第99条の規定により県知事に対し意見書を提出しました。

### 【要望事項】

- ・市町村が実施する児童虐待防止対策に対して十分な支援を講じること
- ・保護する施設のさらなる充実・拡充を図ること
- ・人口規模、地理的要件などに鑑み、和歌山市を除く紀北エリアを管轄する新たな児童相談所を設置すること
- ・児童相談所OBや警察官OBなどの配置も含め人材育成、増強を行うこと

(提出先) 和歌山県知事

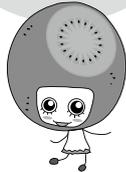
# 紀の川市議会

# 議会報告会

市民の皆さんに議会の活動を知っていただき、  
また、直接ご意見をお伺いするために、  
議会報告会を開催します。  
皆さんの声をお聞かせください。

どなたでも、どの会場でも  
ご参加いただけます。  
ぜひ、お気軽に  
お越しください。

市議会って  
どんなこと  
やってるのかな？



議員って  
どんな仕事  
してるの？



## を開催します

地域	日時	場所	担当議員
打田	令和2年 1/24(金) 19:00～	打田生涯学習センター視聴覚室	上野・榎本・石井・中尾・ 仲谷・船木・室谷・石脇
鞆淵	1/24(金) 19:00～	鞆淵出張所2階大会議室	門・森田・川原・並松・ 杉原・太田・坂本
粉河	1/25(土) 19:00～	粉河ふるさとセンター2階 視聴覚室	森田・杉原・川原・並松・ 中尾・村垣・石井
貴志川	1/25(土) 19:00～	貴志川生涯学習センター2階 講義室	竹村・高田・中村・大谷・ 太田・上野・阪中・堂脇
那賀	2/1(土) 19:00～	那賀保健福祉センター2階 多目的ホール	坂本・堂脇・石脇・竹村・ 高田・中村・大谷
桃山	2/1(土) 19:00～	桃山会館大会議室	村垣・仲谷・阪中・船木・ 室谷・門・榎本

## 紀の川市議会議員政治倫理条例を制定しました

紀の川市議会では、全議員で議会改革検討委員会を構成し、市民の負託に応えるための議会体制づくりを進めるため議会改革に取り組んできました。

「政治倫理条例」の制定もその一環です。自らの政治倫理を確立させることにより、「健全で民主的な市政の発展に寄与する」ことを目的に、「議員の責務」や「政治倫理基準」を明記し、紀の川市議会議員の政治倫理の基本となる事項を定めました。



# 市役所自衛消防訓練に参加しました

10月2日に、市役所自衛消防訓練が実施され、議会として参加しました。議場で本会議開会中に庁舎内で火災が発生したとの想定で、市職員と議員が議場から屋外への避難訓練を行いました。その後、水消火器での消火訓練も行いました。

※市役所本庁舎は、消防法等により、年2回自衛消防訓練の実施が規定されています。



議場から避難する様子



消火訓練

NEXT

## 次回 12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
12/1	2	3	4	5	6	7
	本会議 (開会)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問・ 質疑・付託) 予算決算 常任委員会	
8	9	10	11	12	13	14
		総務文教・ 予算決算 常任委員会	厚生・ 予算決算 常任委員会	産業建設・ 予算決算 常任委員会		
15	16	17	18	19	20	21
		予算決算 常任委員会			本会議 (閉会)	
22	23	24	25	26	27	28

※午前9時30分開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

## 議会を傍聴してみませんか

市議会の定例会は、3・6・9・12月の年4回開催され、傍聴することができます。

市議会では、市民のみなさんの生活に直結した重要な問題が審議されていますので、私たち議員の活動状況や市政の内容を知るためにも、ぜひ傍聴にきてください！



### 【傍聴手続き】

本会議の傍聴を希望される方は、当日受付で住所・氏名を記入していただき、入場してください。

本会議の傍聴定員は、30人（うち車いす用2席）です。

### 【受付場所】

本庁舎6階 議会事務局

電話でのお問い合わせもお受けしています。

●お問い合わせ … 議会事務局

電話番号：0736-77-0860

# 追跡 ちょっとおしえて! あの質問、どうなったの?!

## 予防接種はこれで安心

乳幼児が受ける予防接種はスケジュール管理が煩雑である。日程をスマホなどで簡単に管理でき、メールで知らせてもらう無料のアプリを導入しては。

答弁

近隣の自治体の利用状況も確認しながら医師会との協力体制、費用面や導入後の運営も考慮して今後、研究していく。

その後

## 子育てに必要な情報を 一目でチェック

ICTを活用した新たな子育て支援策として、「予防接種モ！成長記録モ！市の育児情報モ！」地域と繋がる無料の子育てアプリ『母子モ』を令和元年9月1日から提供している。



アプリ「母子モ」のパンフレット

## 診療所は存続できるか

鞆淵診療所の医師が定年を迎えた後の対応と市の費用負担を考えたとき、今後も継続的に運営するために、民間医療機関への委託を考えては。

答弁

現在の医師が、平成11年4月より移り住み、勤務を始めて以来、安定的に医療を提供してきたが、この状況での存続は、財政上からしても難しい。今後検討していく。

その後

## 委託して存続

選考委員会を立ち上げ、公募を行った。その結果、平成31年4月から社会医療法人三車会を指定管理者として委託し診療所を運営している。



鞆淵診療所



# 運動会



川原小学校



竜門小学校



田中小学校



長田小学校



池田小学校



## 編集後記

「平成最後の…。」「令和最初の…。」この言葉をよく耳にした2019年も残すところ、あと2ヶ月となりました。

いよいよ、来年は東京オリンピック・パラリンピックが行われます。4月11日(土)には、紀の川市を聖火ランナーが走ります。みんなで大いに盛り上げていきましょう。

さて、議会広報特別委員会は、この号をもって、現メンバーでの編集作業は最後となりました。手に取り、見てもらい、読んでもらう。そして、わかりやすい広報紙を目指し、議会改革とともに、議会だより「未来へ」も改革に取り組んでまいりました。

まだまだ、議会だよりの改革も道半ばではありますが、新メンバーへ託し、結びとさせていただきます。

2年間ありがとうございました。

(森田 幾久)

